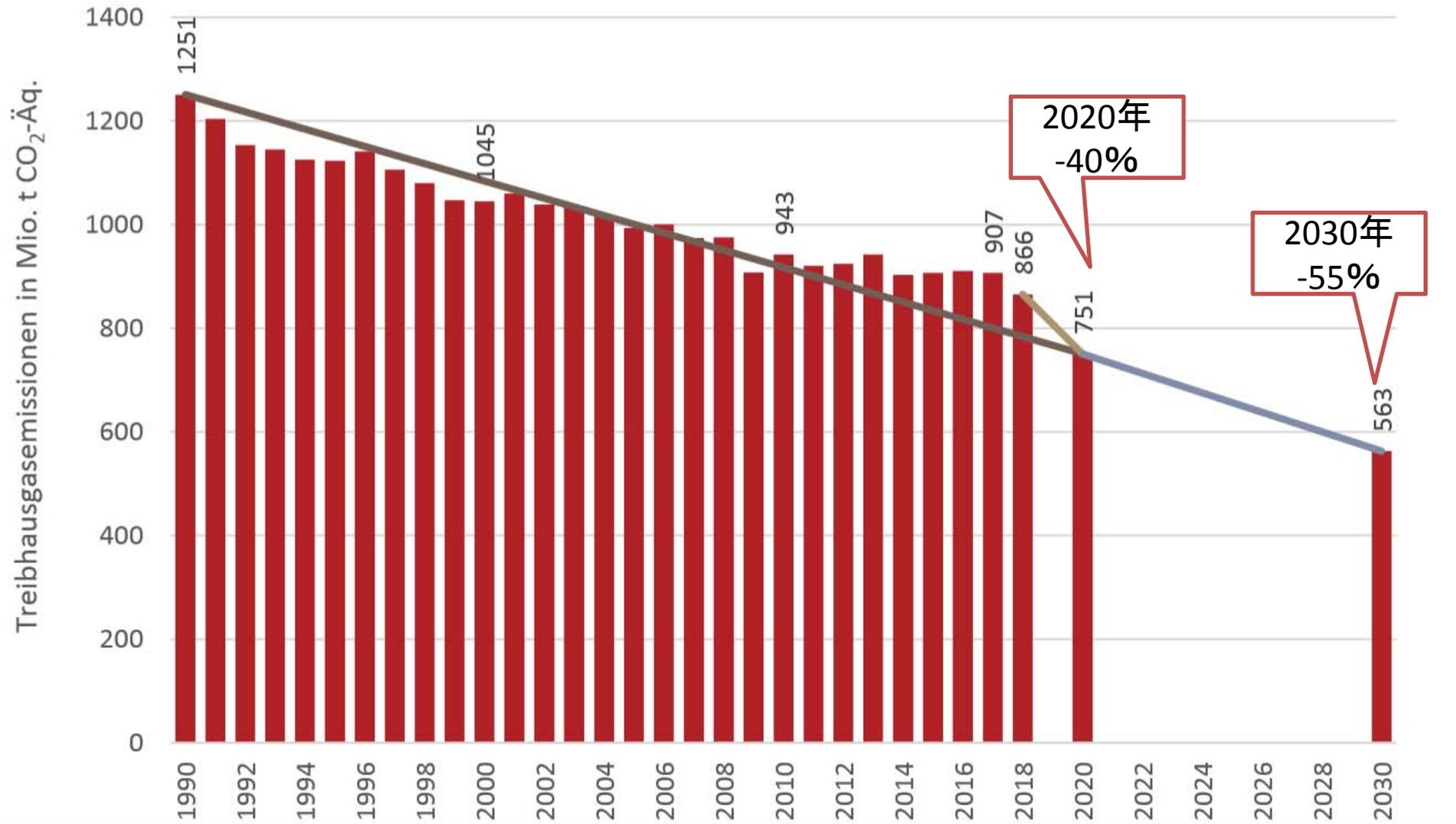


脱石炭へ進むドイツの最新情報

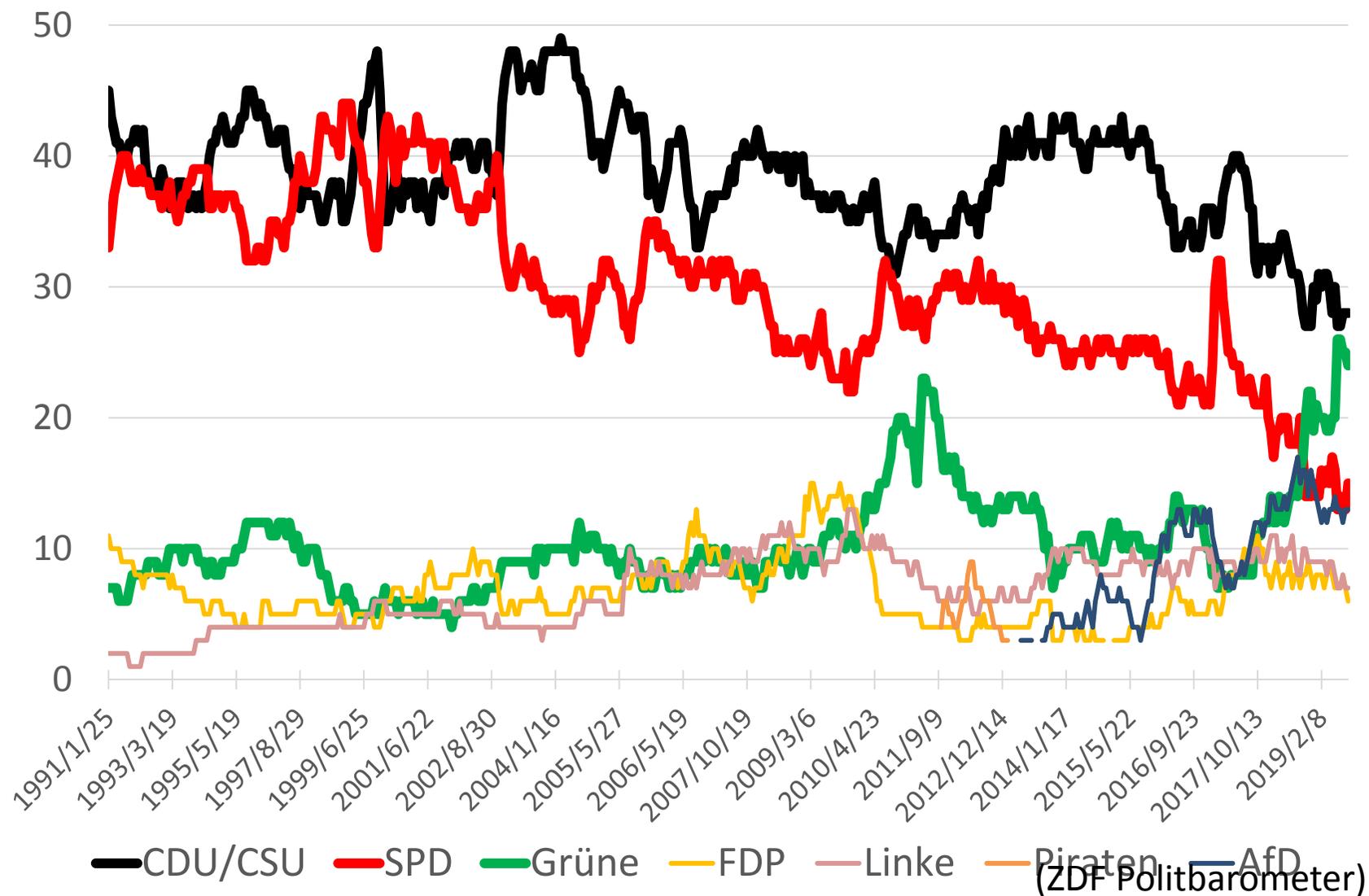
弁護士 千葉恒久
chibat@jc4.so-net.ne.jp

2019年10月2日 東京

進まなくなった排出削減



政党支持率の推移 ～ 中道政党の衰退／緑の党の躍進

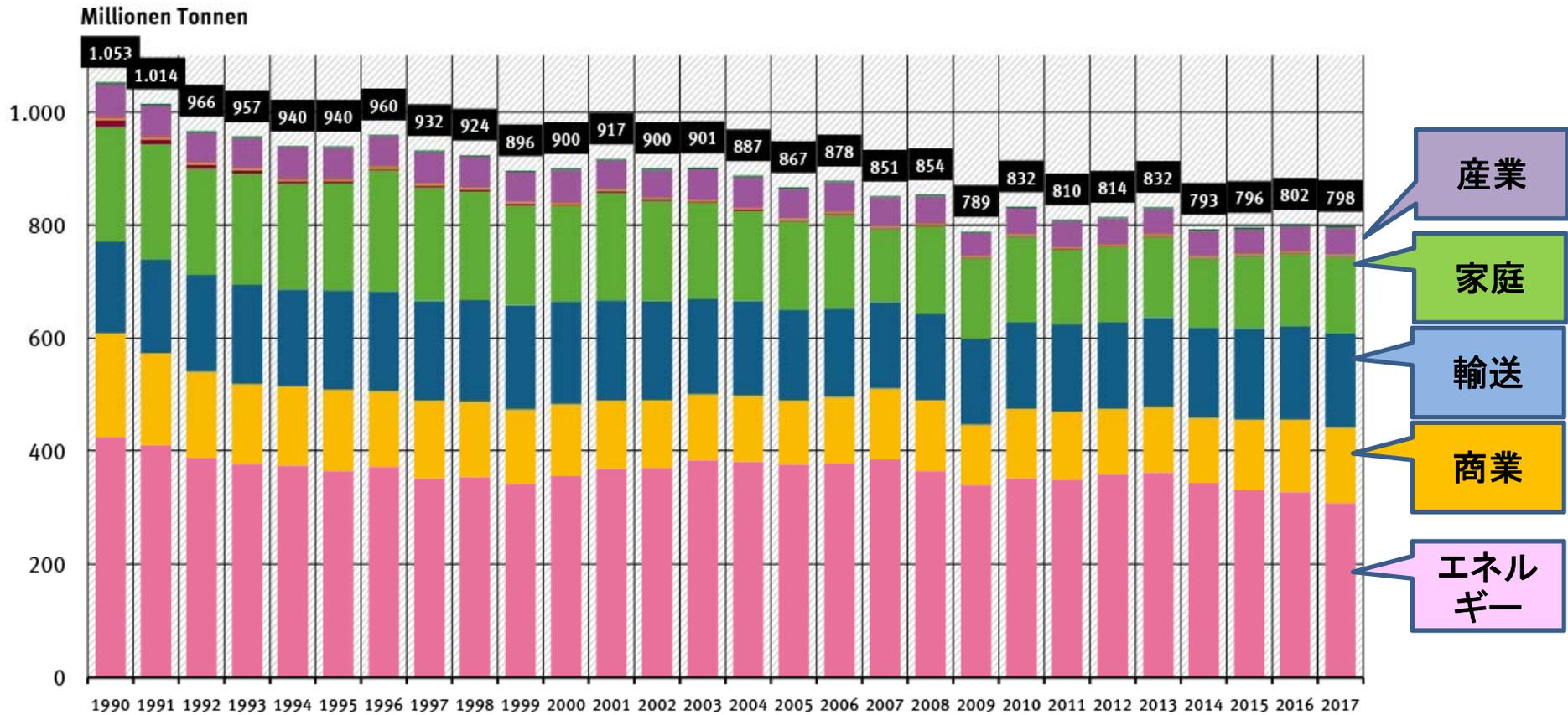


『気候保護プログラム2030』 2019年9月20日

- 1 輸送・熱需要における国内排出量取引制度
2025年まで 10€→35€/CO₂トン^{を課金}
2026年以降 排出総量を削減(上限60€)
→再エネ法賦課金の軽減 0.25～0.625セント/kWh
- 2 断熱改修・都市改修の補助
石油暖房の禁止(2026年以降)
- 3 電気自動車充電スタンドの設置 1,000,000カ所
鉄道代の消費税軽減(19%→7%)

・・・全64項目

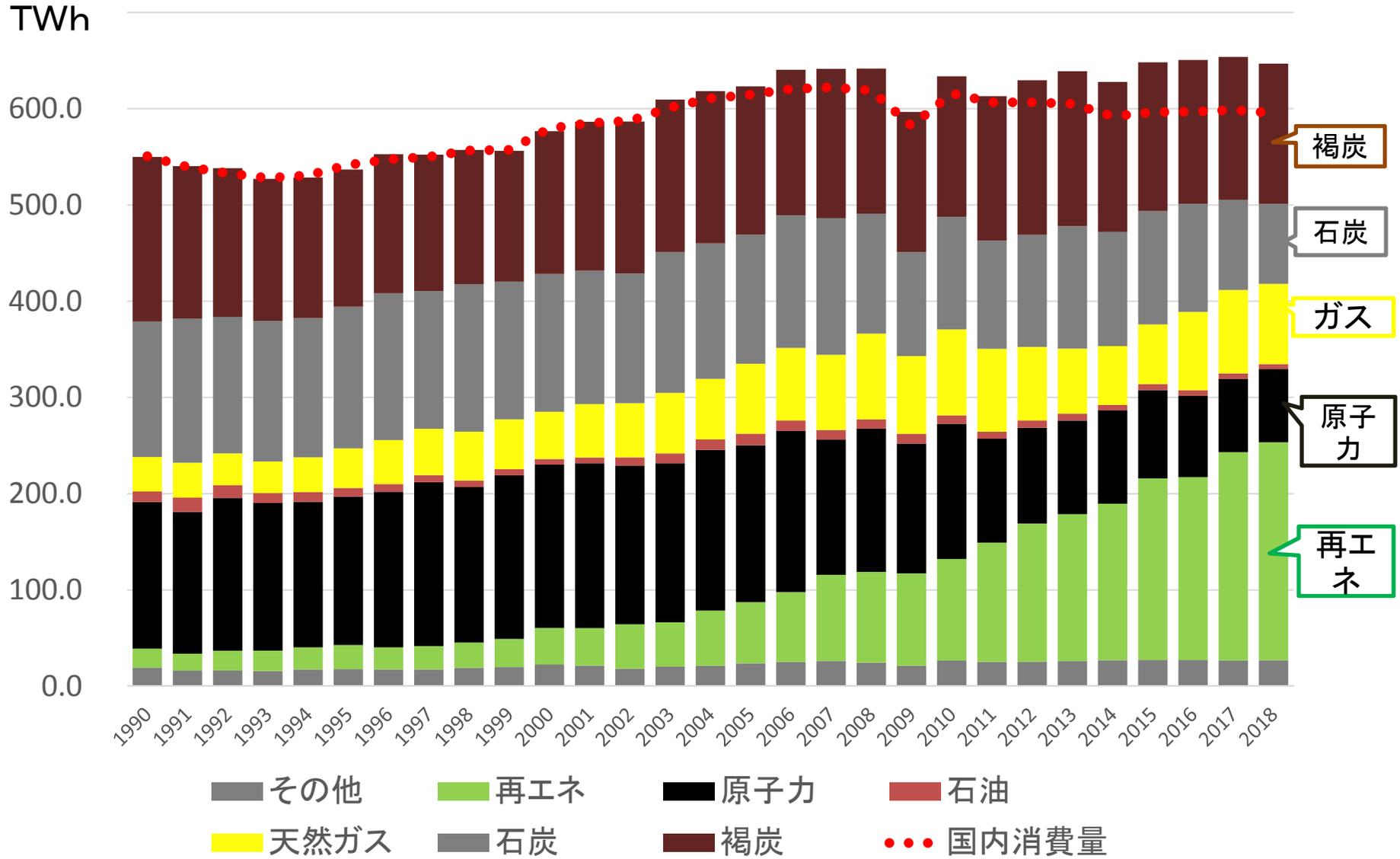
CO2排出量の推移(部門別)



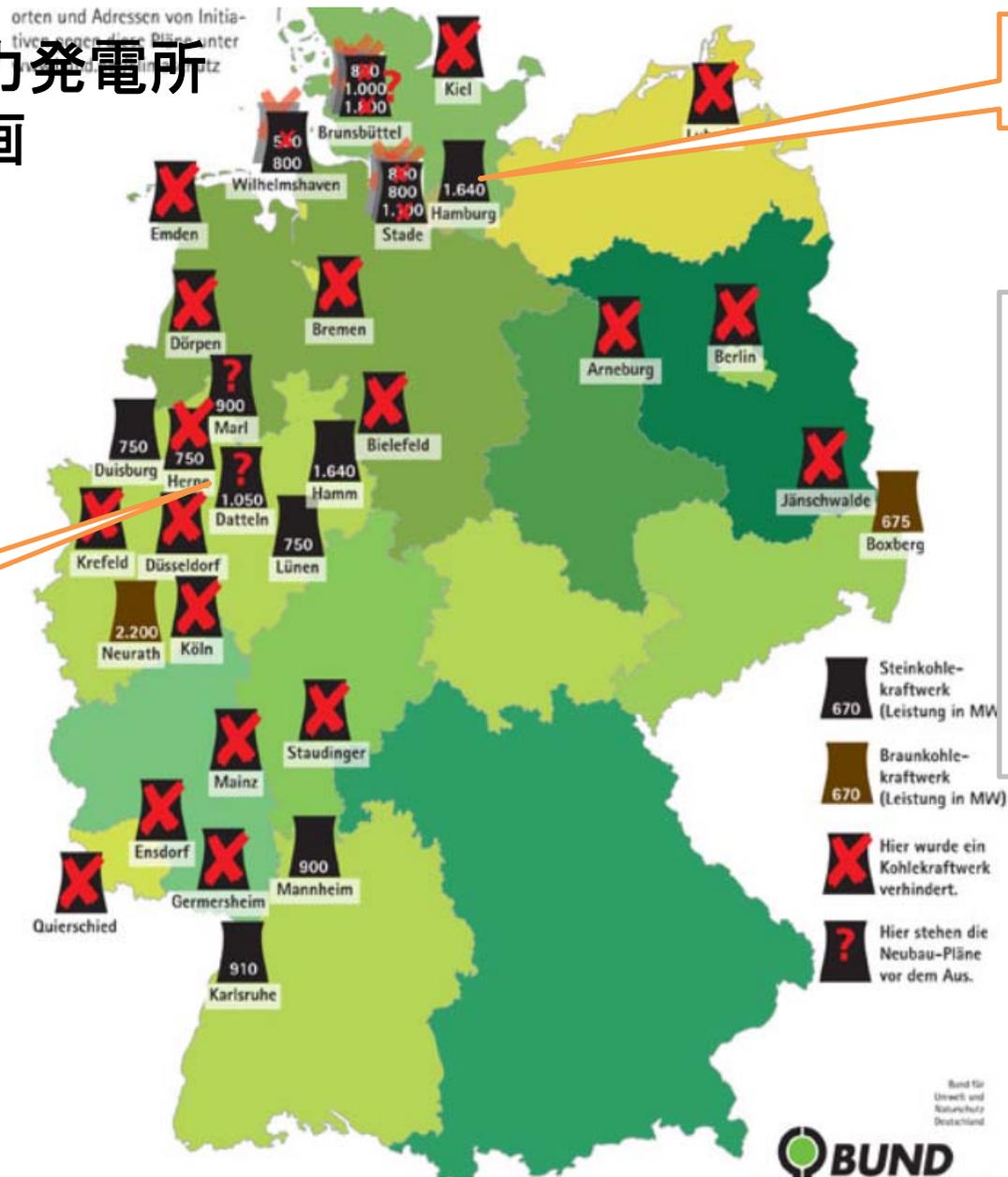
Kohlendioxid-Emissionen: ohne Landnutzung, Landnutzungsänderung und Forstwirtschaft
 Verkehr: ohne land- und forstwirtschaftlichen Verkehr
 Haushalte und Kleinverbraucher: mit Militär und weiteren kleinen Quellen (u.a. land- und forstwirtschaftlichem Verkehr)

Quelle: Umweltbundesamt, Nationale Trendtabellen für die deutsche Berichterstattung atmosphärischer Emissionen seit 1990, Emissionsentwicklung 1990 bis 2017 (Stand 01/2019)

発電総量とエネルギー源の推移



石炭火力発電所 建設計画



Moorburg

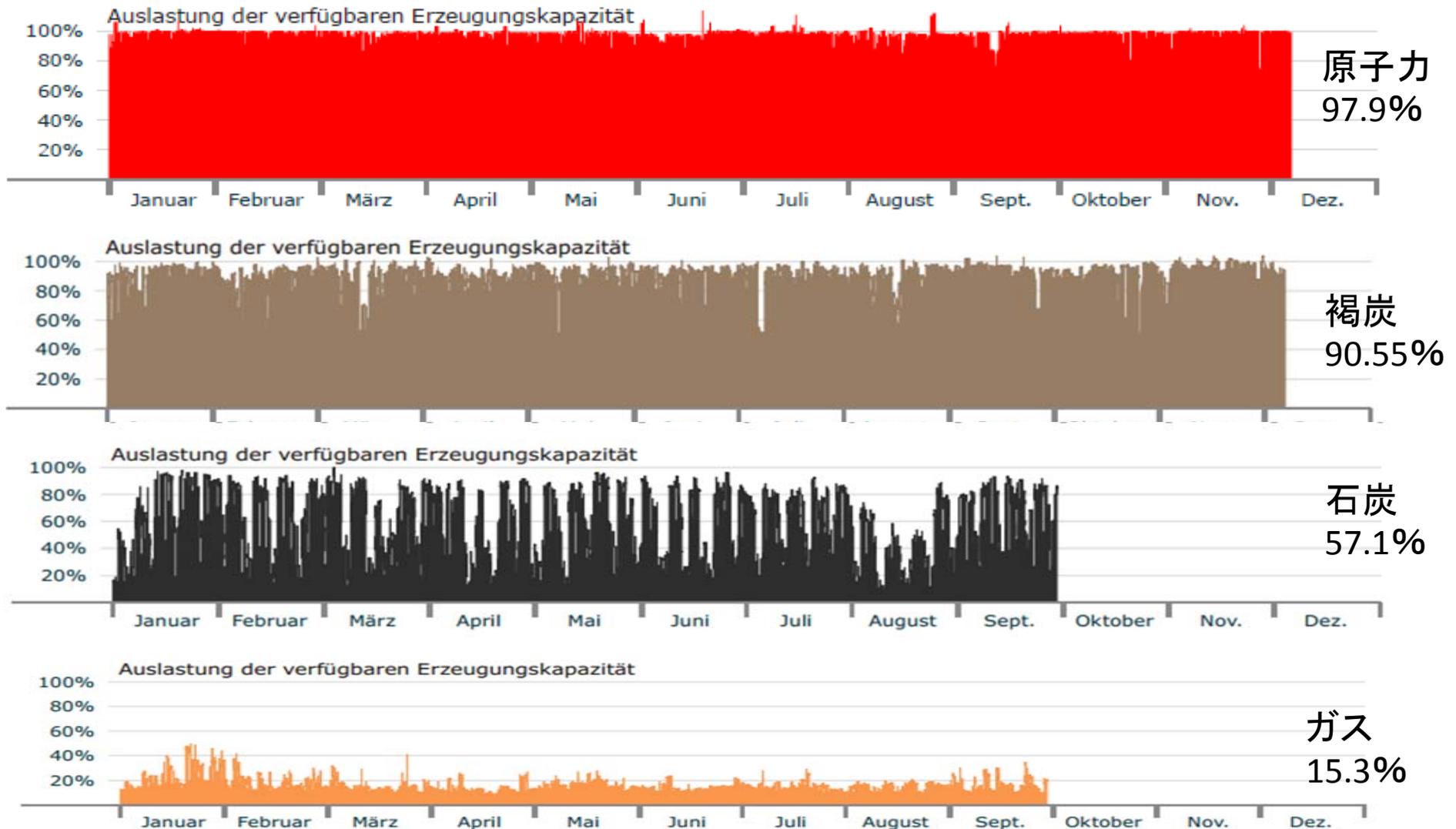
Datteln

2016年5月

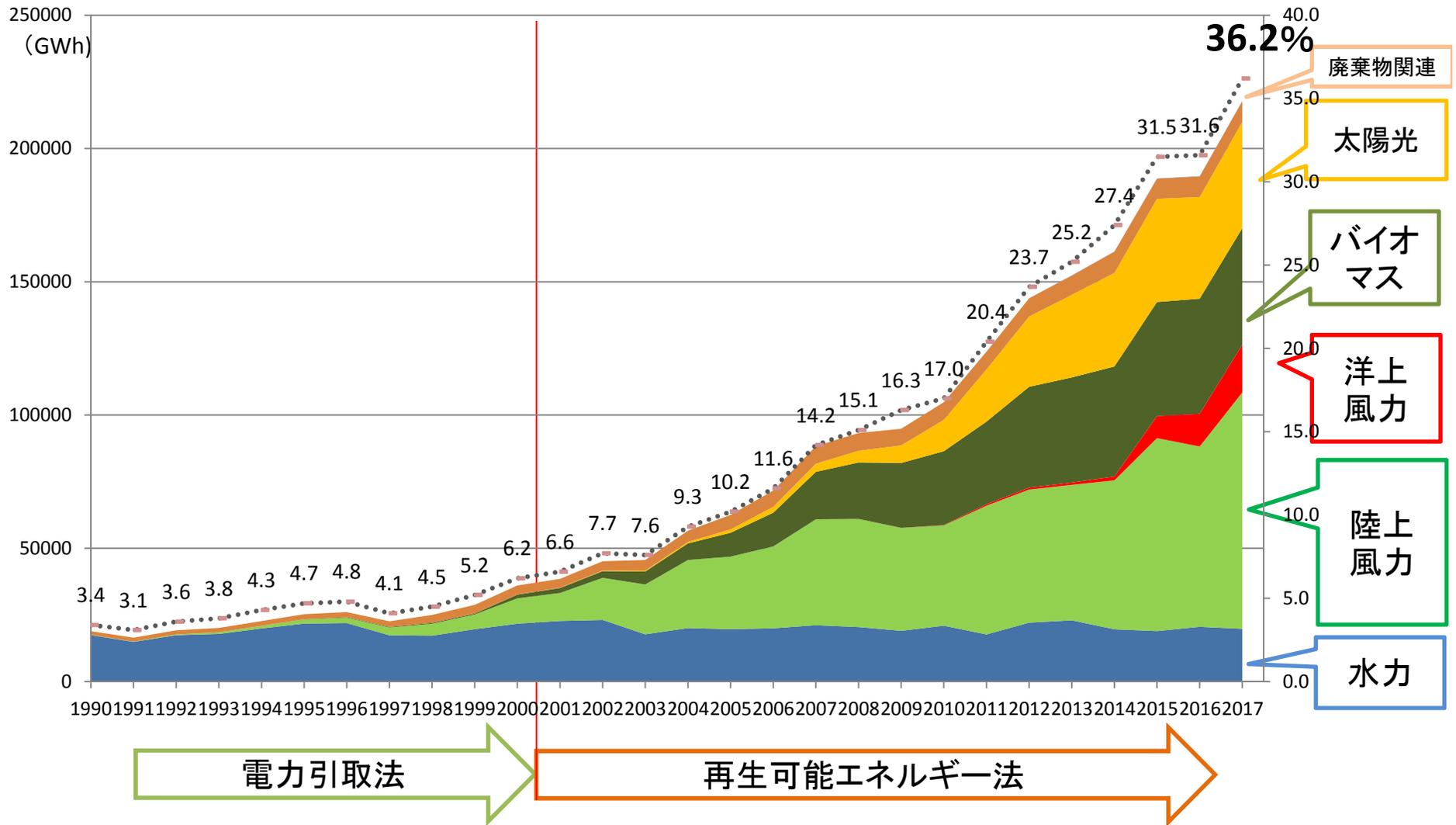
稼働 9
 工事中断 3
 中止 30

再エネの増加によって下がる火力発電施設の稼働率

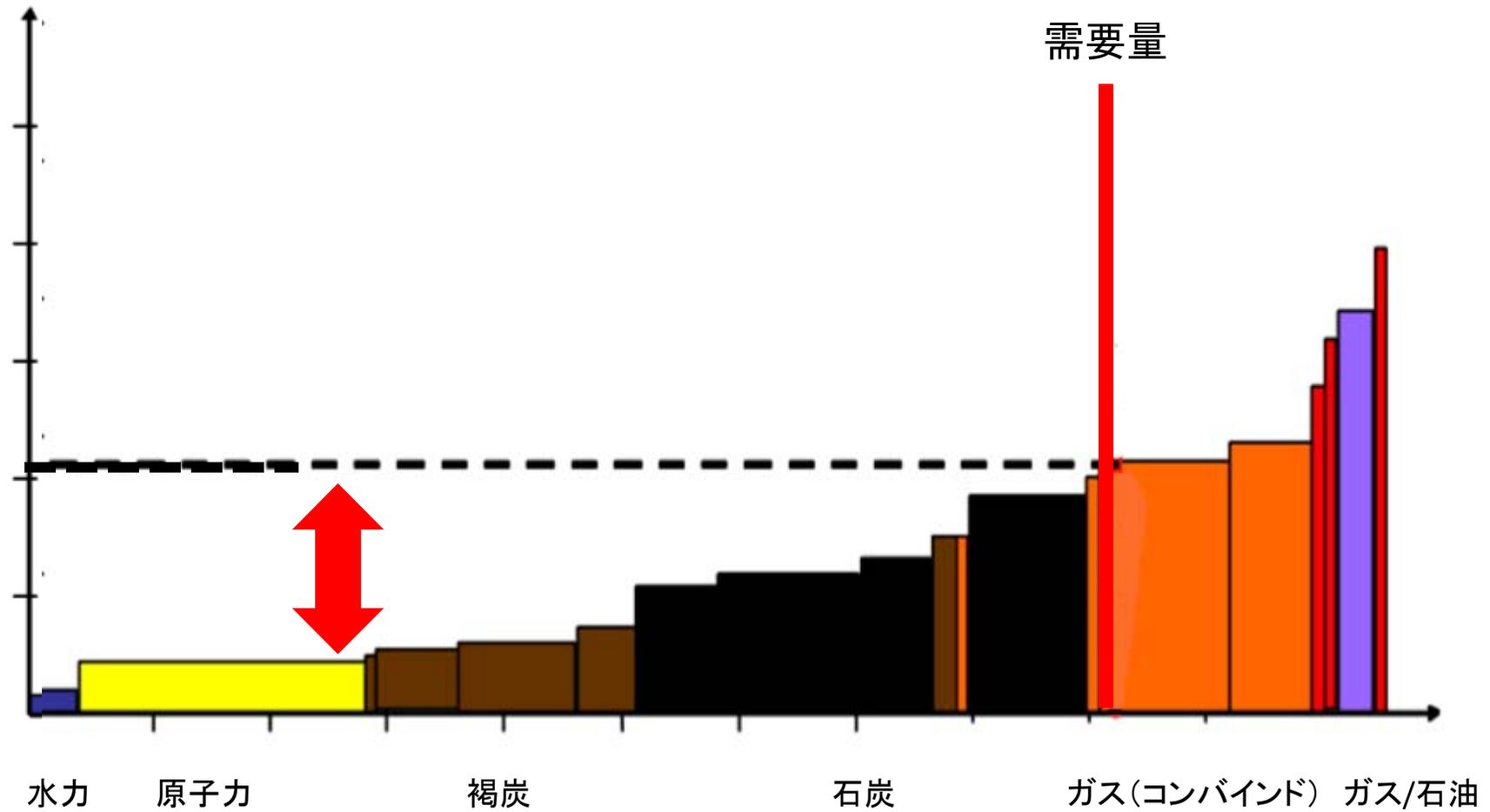
(数値は稼働可能な施設のうち何パーセントが実際に稼働したかを示している)



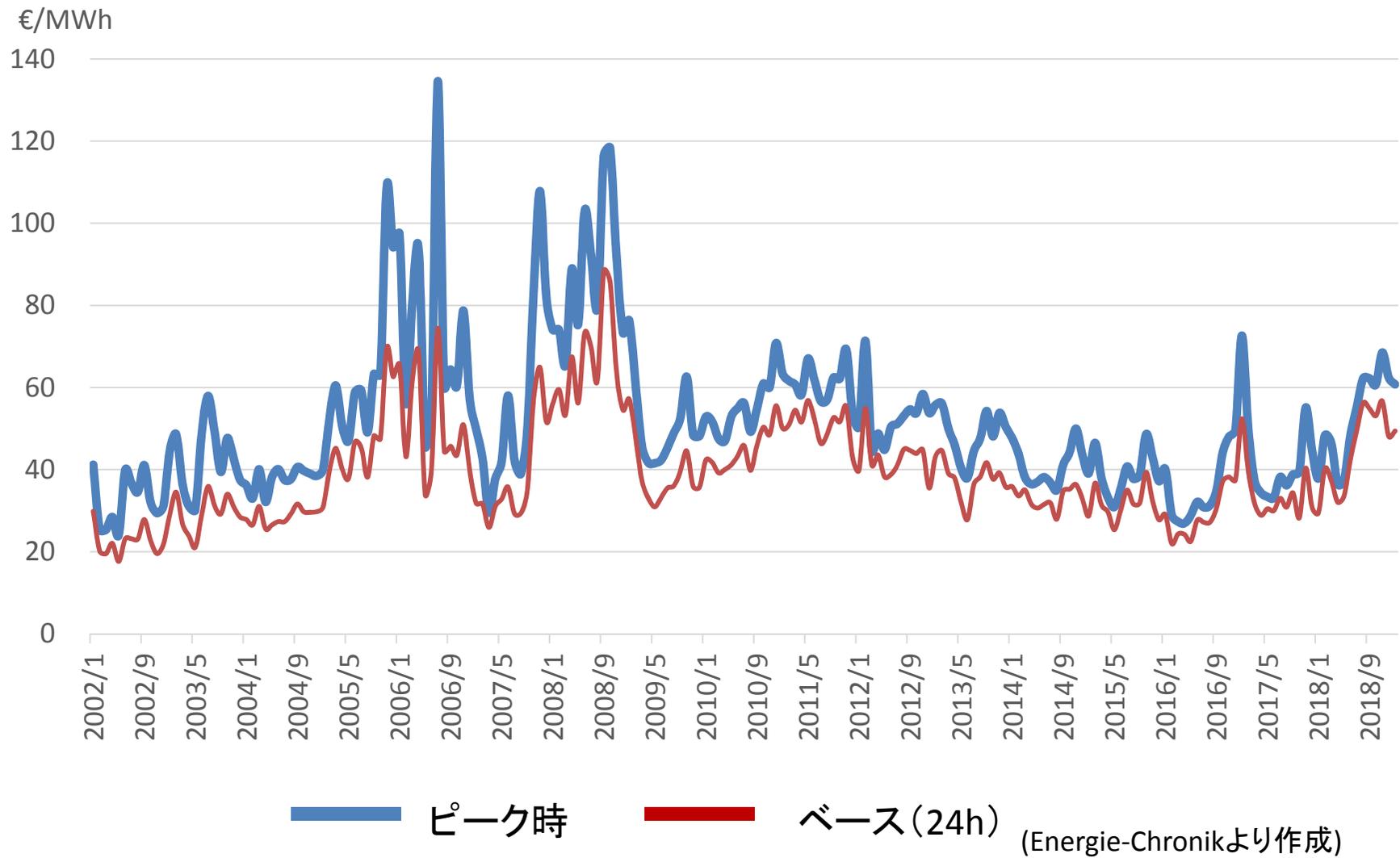
再生可能エネルギーによる発電量



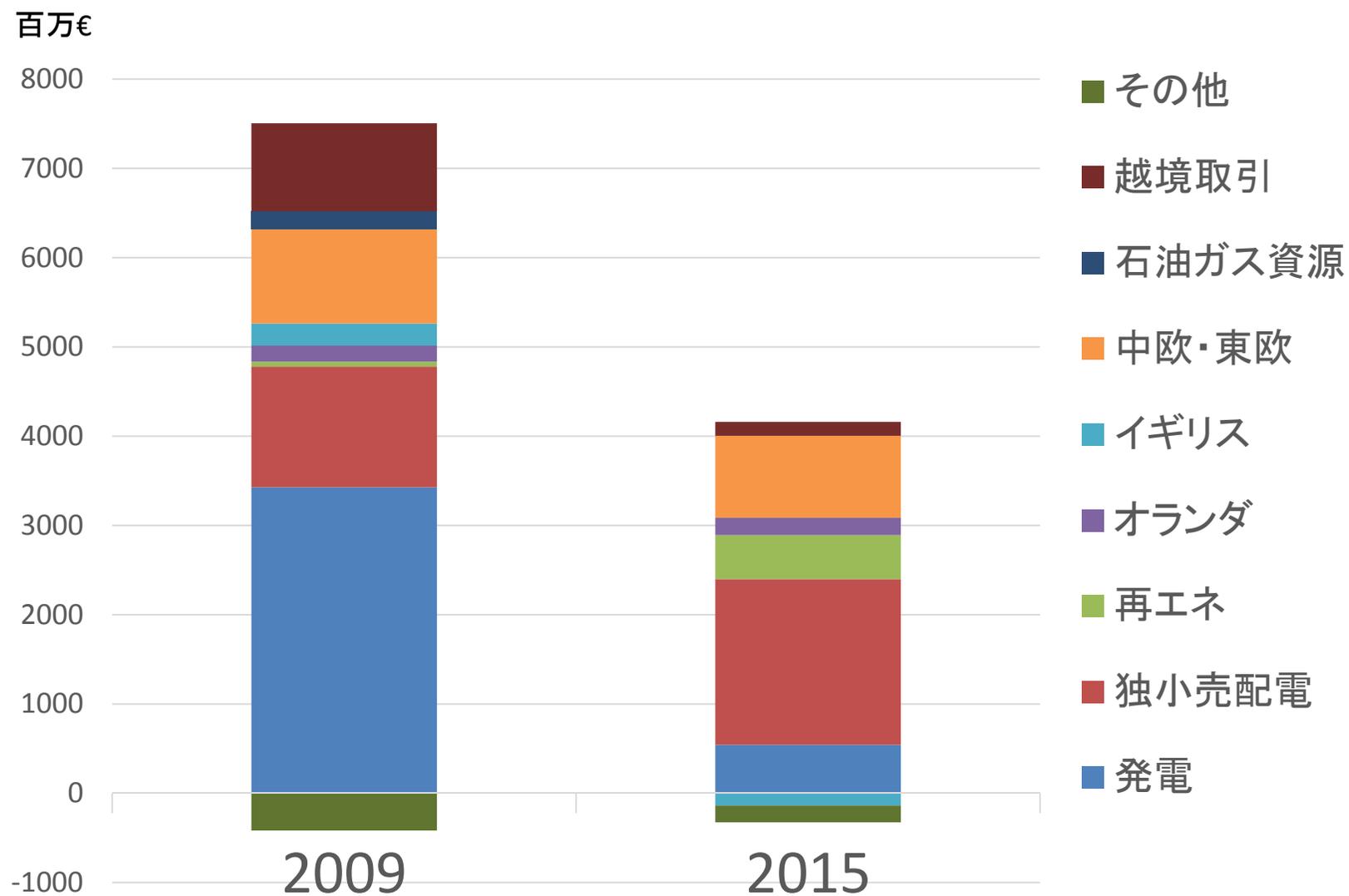
再エネが取引価格を引き下げる



電力取引価格の推移（月平均取引価格）



大手エネルギー企業の経営危機



RWEの部門別の営業利益額

(RWE 事業報告書)

エー
オン



エーオン 4万人



ユニパー 2万人



イノジー 4万人



2019年
イノジー社
解体

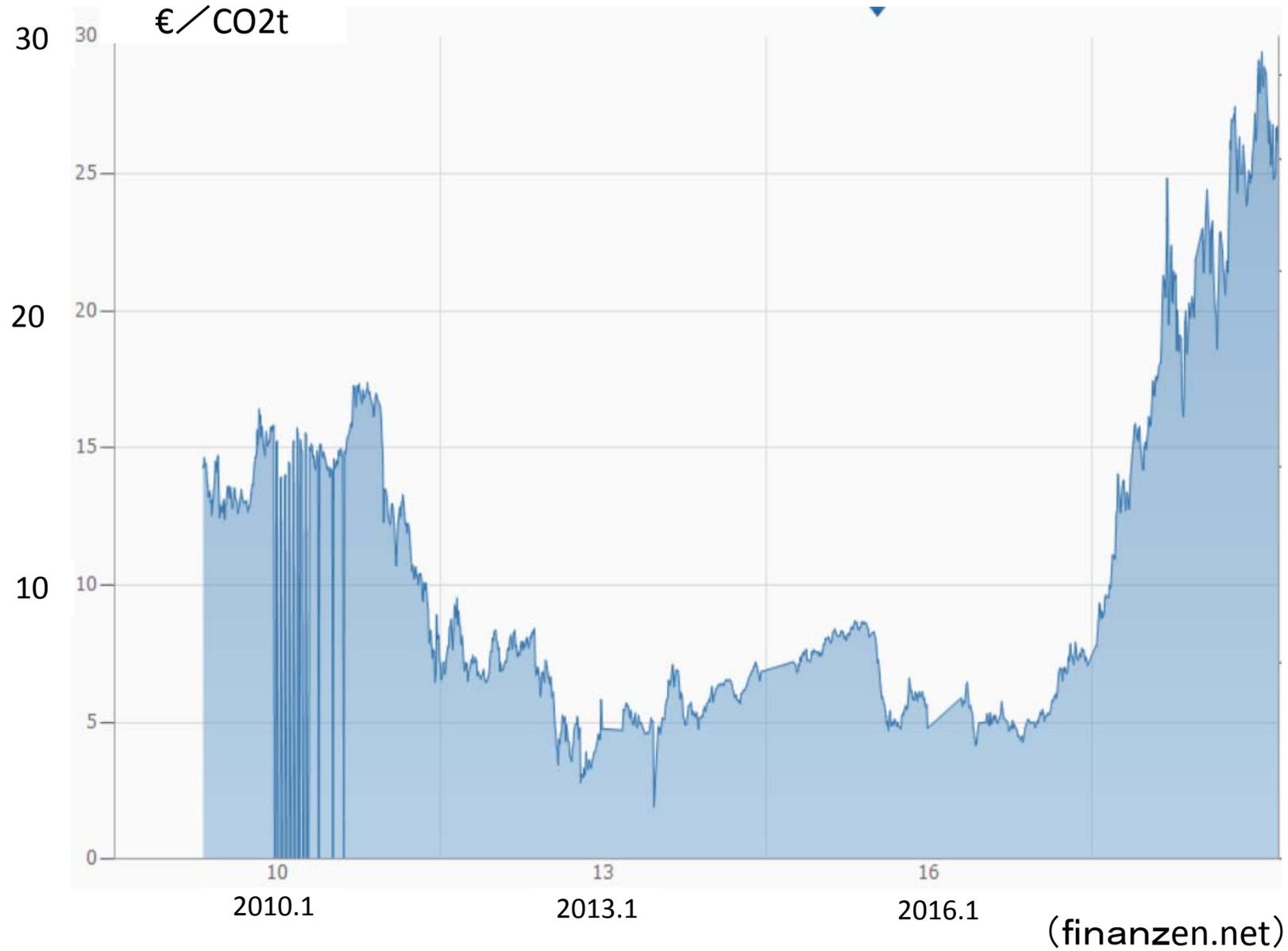
RWE



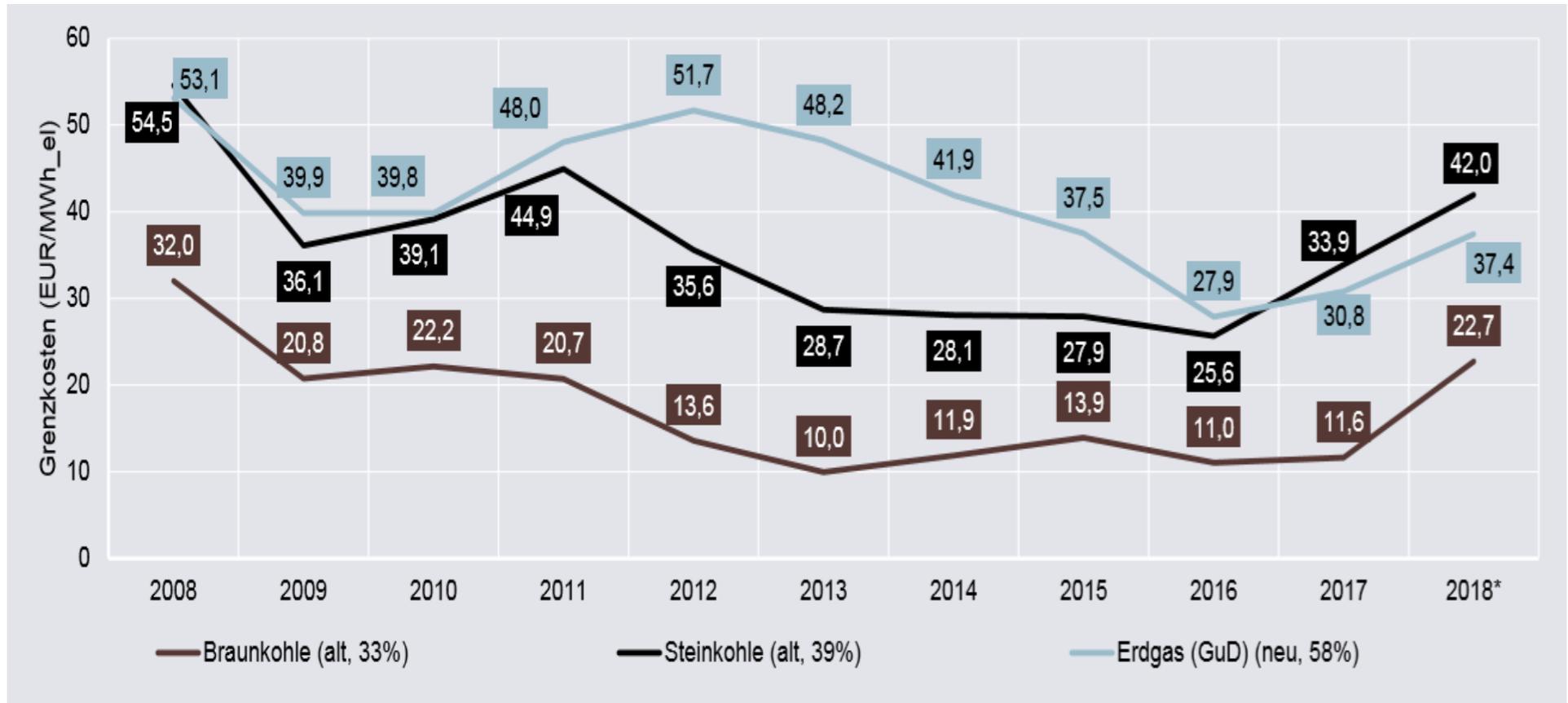
RWE 2万人



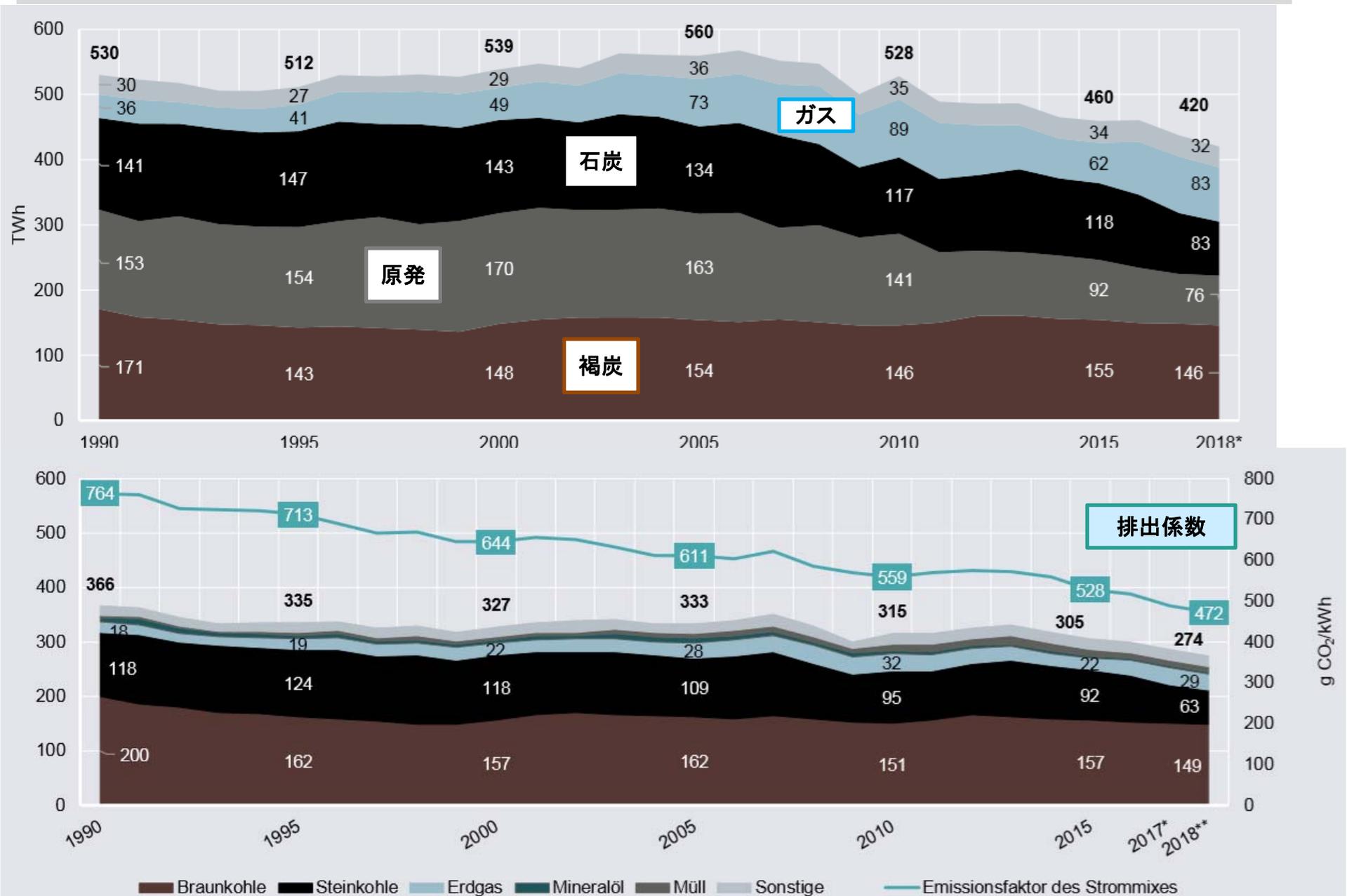
復活したCO2排出権取引制度



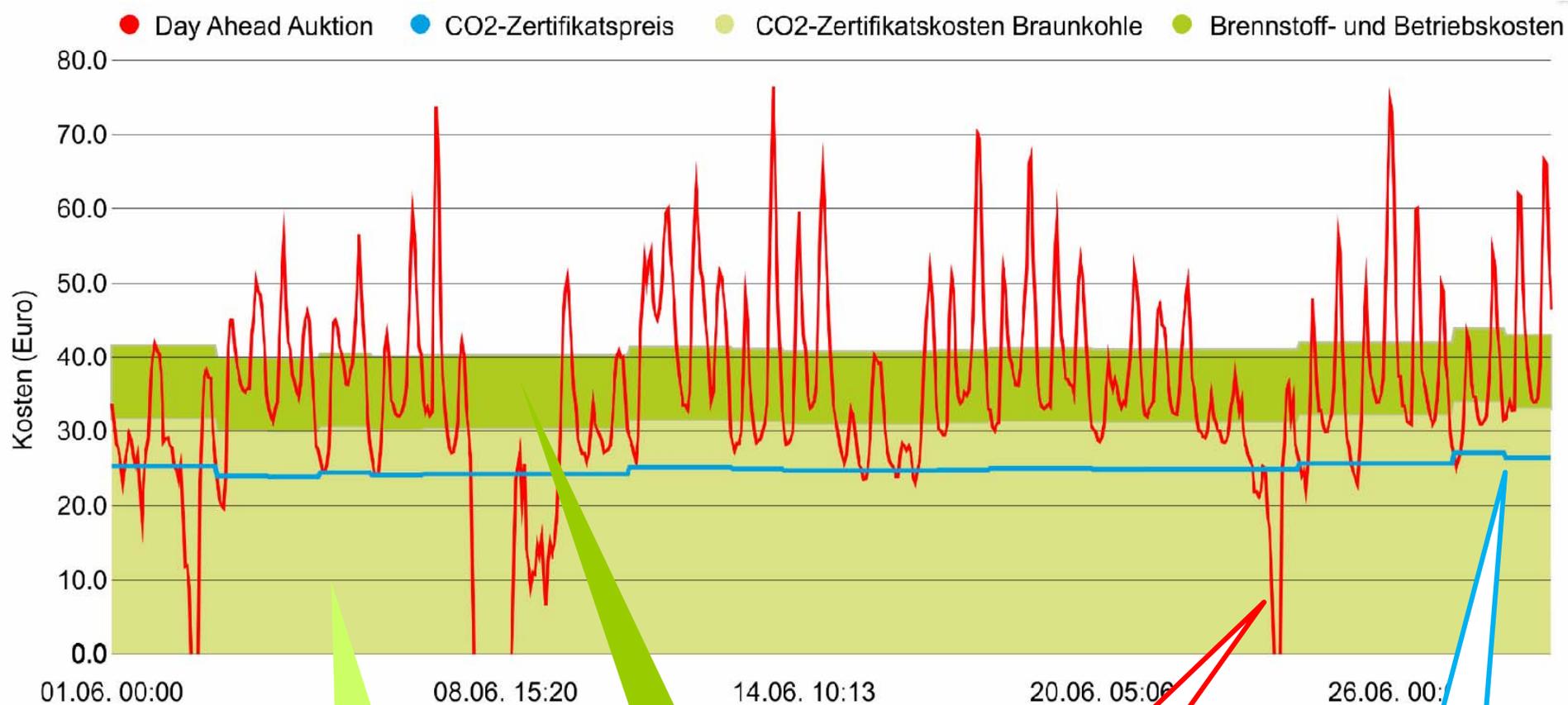
ガス・石炭・褐炭火力の発電コストの推移



火力・原子力の発電量(上)とCO2排出量(下)



褐炭火力の発電コストと電力取引価格(2019年6月)



CO2排出
権コスト

燃料コスト

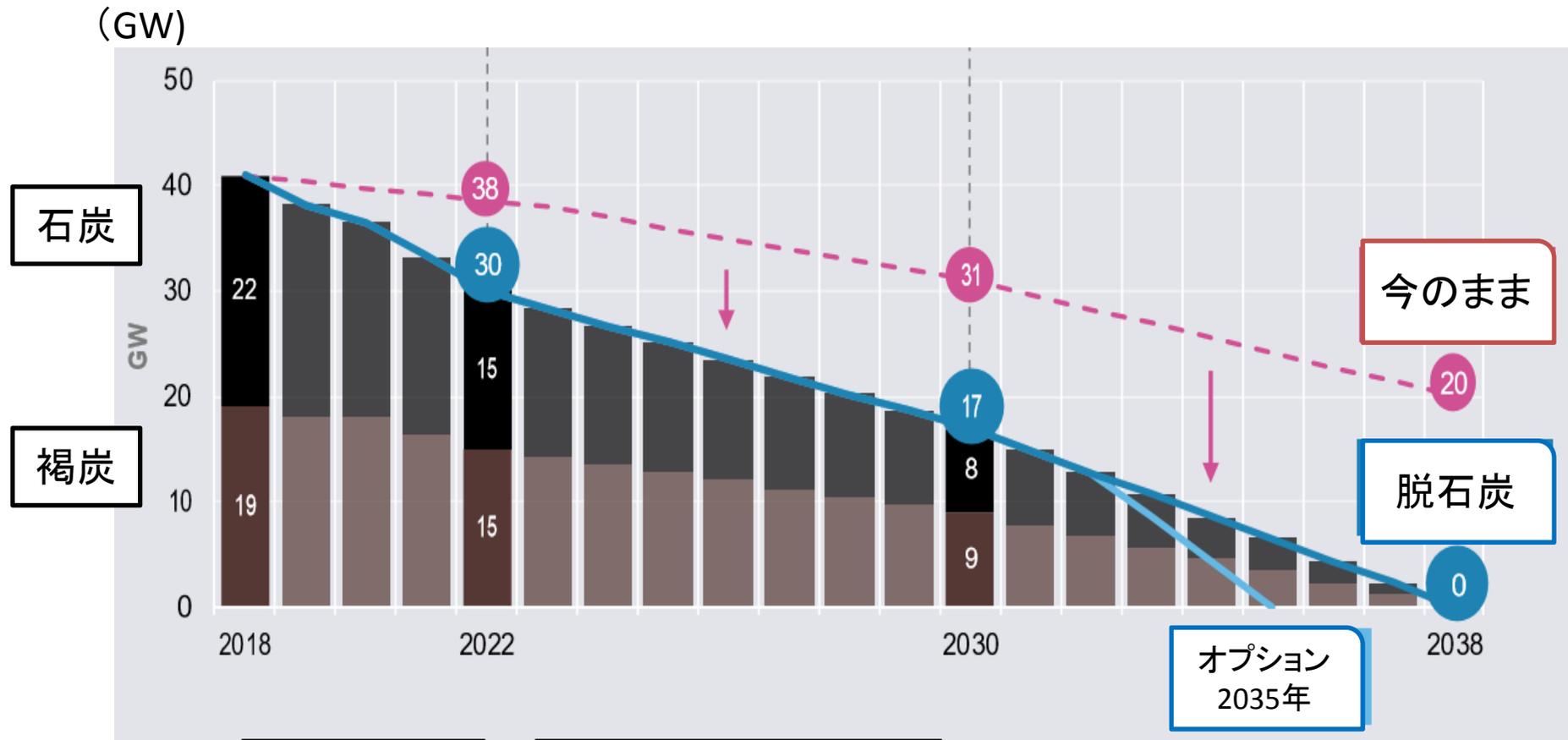
電力取引
価格

CO2取引
価格

(Fraunhofer ISE 2019)

「成長、構造改革、雇用の委員会」最終報告書(2019年1月)

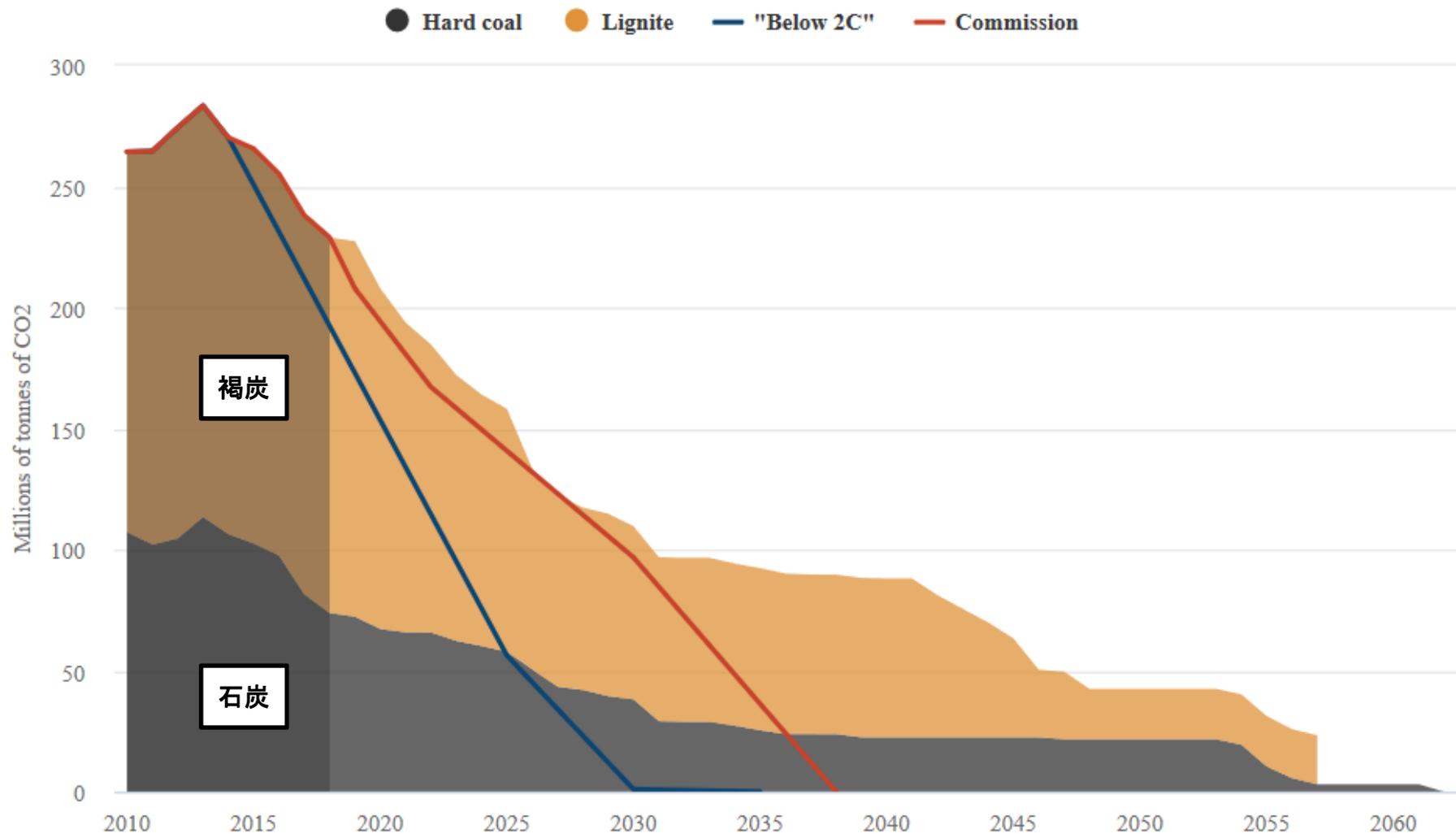
「2035～2038年の間に石炭・褐炭火力発電所をすべて廃止する」



ネットワーク
リザーブ(石
炭⇒ガス)

入札による廃止補助
(石炭)
補償(褐炭)

2030年以降の手段は未定



まとめ

- 1 気候保護が最重要の政治課題になっている
- 2 2000年代後半、石炭・褐炭火力発電所を建設した事業者は経営危機に陥った
- 3 再エネの急伸と排出権取引制度の復活によって、電力市場取引による脱石炭が進んでいる

ご清聴ありがとうございました。